

## 2 目標達成計画

作成日: 平成23年4月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43 (16)	排泄パターンの把握について、排便記録はあるが、排尿記録はとられていない。排泄の自立に向けた事前誘導や失禁時の対応は周囲に配慮している。	自立している入居者様へは、一日に数回の割合で排尿回数の聞きとりを行う。その後、一人ひとりに合わせた聞きとり回数を調査し、出来るだけ正確な回数の把握に努めていく。	5月→排尿回数把握の重要性を職員に伝え、取り組み体制を改善する。 6月→排尿回数把握がなぜ必要なのかについて、勉強会にて周知する。 7月→排尿回数の調査を開始する。 8月→身体的な状態から、排尿回数を把握しなくてはならない入居者様を見極め、ケアプランに盛り込んでいく。	5か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。